



株式会社 今村製茶

農福連携の取組み

代表取締役 今村和也

代表者名
(会社/農園)

株式会社 今村製茶

所在地

〒893-2301 鹿児島県肝属郡錦江町神川700

ホームページ


<https://www.imamura-tea.com/>

事業内容

お茶の生産：5 ha
茶工場：120kg、1ライン（鳥浜お茶倶楽部）
JGAP取得、かごしまブランド団体認定

主要顧客

鹿児島県茶市場、JAどっ菜市場、EC（BASE）

A wide-angle photograph of a tea plantation. The tea bushes are arranged in neat, parallel rows that recede into the distance. The sky is a clear, pale blue, and the overall lighting suggests a bright, sunny day. In the background, there are some utility poles and power lines.

生産するお茶すべてに「価値」を与え、
「三方良し（生産者、業者、消費者）」
皆を豊かにする持続可能な茶業を！

スポット人材の活用による増産

・障害者福祉施設との連携「農福連携」に挑戦

課題

自社：慢性的な人手不足で、特に1番茶の収穫に手がかりすぎる
施設：福祉法人以外の仕事がない。福祉法人以外との関わりがない

✓ 3月からスタート（鹿屋市の施設と連携）

✓ 作業は「被覆（被せ）」と「剥ぎ」

タスク：詳細な作業手順の作成
指導員との打ち合わせ

更に詳細な手順書作成（写真など？）



敬心グループ（株）ひまわり農苑

その他の作業に拡大していく

現状50万/反→60万/反をコンスタントに取れるように

ほうじ茶、玄米茶のティーバック、粉末化

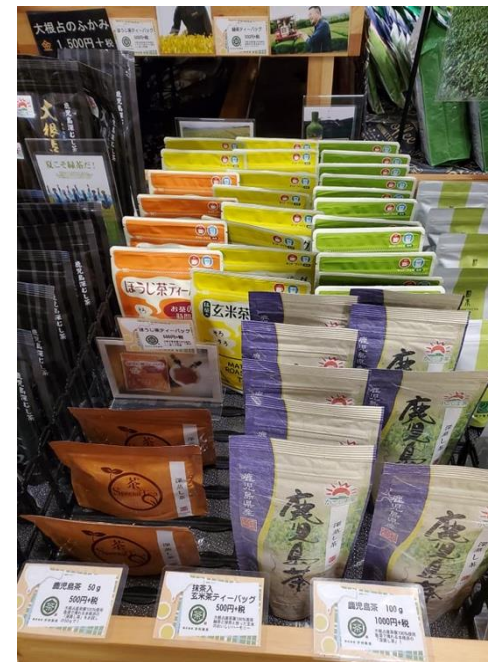


- ✓ 2番茶以降は加工へ
→自販率を高めていく

課題：販路をどう広げるか
タスク：営業先リスト作成



- ✓ お茶により「価値」をつけていくために
- ✓ ドリンク原料だけだと「3方良し」にならない
→「すべてのお茶に価値を」



これまでは、生産と茶工場の経営が一体。
一方が一方を補完しあう関係であった。
それにより乗り切っていたが、本質的な経営の改善が見えにくい状況であった。
(薄々感づいていいたのだが・・・。)

経営理念として決めた「三方良し」。



自身の経営においても「三方良し」を考えた。

生産は生産の利益を、工場は工場の利益を追求する。
さらには、販売の拡大により価格の決定権を持つ。

それぞれの経営を考えていくことに決めました。

「農福連携」とは？

農福連携とは、障害者等が農業生産に従事すること

農福連携は、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、働き手の確保につながるものである。

安価な労働力ではないし、そうであってはならない！

農福連携の価値→「居場所と出番をつくる」（村木 元厚生事務次官）

「福」→身体的障害者、精神障害者、知的障害者、発達障害者、引きこもりの人、生活困窮者



農福（ノウフク）との出会い

気がついたら「ノウフク」になっていた・・・

(株)今村製茶では初めから「農福連携を活用しよう」と思い取り組んだわけではありません。

当時通っていた子供の保育園で田んぼでの泥んこ遊び体験のあと副園長先生にグループ内の農業法人に「年に1回でも少しでもいいので茶のお仕事手伝ってもらえるのできませんかね？から

あれよ！あれよ！と話しが進み作業していただくことに



農業と福祉が連携していく取組が実は「農福連携」と呼ばれるものだと後になって知る。



＜施設利用者の方々をお願いしている作業＞

- 1 草取り，落葉拾い
- 2 寒冷紗被覆
- 3 パイプ運び（機械作業時のみ）
- 4 寒冷紗除去



草取り，落葉拾い



被覆作業の前に、
茶園の草取りや落
葉拾いを実施。

指導員さんに、
実際取る草葉や取
る位置を実演しな
がら利用者さんに
指導してもらう。

寒冷紗自動巻取・張込機（らくまきくん）



自走しながら茶用寒冷紗を自動で張り込み、巻き取り作業ができる

茶畝に沿って進行方向を自動制御するので、走行操作が不要で楽ちん

寒冷紗50m巻を6本（300m分）積み込み可能

エンジン側の操作は指導員さんに行ってもらおう（枕地での旋回操作）

寒冷紗 被せ作業



寒冷紗の被せ作業は基本4～5名の人員
前方2名（指導員1名含）は機械操作
後方2～3名は枝にピンチを挟む作業

作業前に、指導員さんに、茶樹への
とめ方やとめる位置を実演しながら
利用者さんに指導してもらう。

寒冷紗 被せ作業②



農福連携 被覆作業



株式会社 今村製茶



機械がどんどん被せていき後方より多数の利用者さんが一気にピンチを留めて場合もある。

5反～7反が1日の作業面積目安（その日の利用者さんによって変動があるのは当然である）
そこを理解することができかがノウフクを継続できるかで大事なところ

利用者さんの体調がくずれることがあることを理解

パイプ運び（機械被覆時のみ）



機械での被覆作業後，寒冷紗の巻取り軸（パイプ）を利用者さんが機械からはずしてほ場の脇へ運ぶ。

寒冷紗 はぎ作業



機械が寒冷紗を巻き取って剥していくのを、障害者2～3人がピンチを茶樹からはずし、巻き取りやすいよう寒冷紗を支えて補助する作業

機械のエンジン音や機械に追われるという不安感を感じさせないため、ピンチをはずす作業を先に行う。

利用者の皆さん



落ち葉拾い・除草・かずら取り



通常、人数を多数かけて作業することは不可とされるが



農福連携では、人数を多数動員することが可能でありそれはメリットでもある

短時間にスポット的に人数をかけられるのがノウフクである



株式会社 今村製茶



除草・かずら取り



言っただろ！見たらわかるだろ！取れてないじゃないか！ちゃんとしろ！金払ってだろ！



NG！！

作業における課題①

「草・カズラを根元からとってほしい」



兵庫県立大学大学院・豊田先生を訪問して質問してアドバイスをいただく



5本とったらとった草・カズラを確認してできていないところを指摘して何度も繰り返す

指導員さんとの連絡方法

指導員さんとは
LINEでPDF化した
Excelカレンダー
を変更があると
訂正して送信
(弊社・福祉側
お互いにその都
度送信して現状
の作業状況を共
有)

福祉側にも福祉側
の予定があるため
作業できない日、
人数が不足する日
を聞き取っておく
こと！

「ノウフク JAS」の認証取得

農福連携で生産された農産品の価値化・見える化（ブランド化）
日本農林規格

ノウフクJAS

2020年 東京オリンピック・パラリンピック大会農産物調達コードに記載

2025年 大阪・関西万博における農産物調達コードに記載

- ・ 弊社(株)今村製茶の経営理念「三方良し」と合致
- ・ 「産地」や「品種」、「栽培方法」を軸とするブランドではない
- ・ 国際標準化を見据えている（海外への訴求力が向上）
- ・ 取引先のCSR（社会的責任）活動にもなり、販路拡大につながる
- ・ 何より現在、利用者さんが作業していただいていることを価値化・見える化したい

障害者が生産行程に携わった食品

認 証 書



貴組織は、JAS法及び当社の審査制度に基づき審査した結果、
日本農林規格等に関する法律(昭和25年法律第175号)に基づき以下のとおり認証します。

認証番号 NKS0038
認証年月日 令和5年2月6日

認証事業者の名称	株式会社 今村製茶
事業者の住所	鹿児島県肝属郡錦江町神川700番地
認証に係る業種	生産行程管理者
生産行程管理責任者氏名	今村 和也
認証に係る農林物資の種類	障害者が生産行程に携わった食品
食品の種類	ノウフク加工食品
認証品目	緑茶 緑茶ティーバッグ 抹茶入玄米茶ティーバッグ ほうじ茶ティーバッグ

日本農林規格登録認証機関
一般社団法人 日本基金
代表理事 國松 繁樹
東京都千代田区外神田2-1-4



「ノウフク マルシェ 2022」への参加 (大隅半島ノウフクコンソーシアム会員として)

2022年10月27日 二子玉川ライズ ガレリア



このノウフクマルシェは、ノウフク商品の販売を通じ、全国の農福連携の取組や商品のすばらしさを多くの人に知ってもらおうとともに、農業で活躍する障害者の皆さんを応援することを目的として開催

「知る」「取り組む」「広げる」を段階的に進める



農福連携の課題

- ・ 農業行政に精通した福祉側の人材が少ない
- ・ 福祉行政に精通した農業側の人材が少ない



農業・福祉双方に精通した人材不足

- ・ トイレ問題（農福連携においてトイレは必須！）トイレがあればいいという問題ではない！トイレ問題で作業を断る事例有
→ノウフク・ラボにてTOYOTAがモバイルトイレを試作

農福連携の課題

・属人的（ぞくじんてき）

・あまりに作業（事業所）を固定化しすぎるとこちらの作業が事業所側のスケジュールに合わせないといなくなる。

これって、事業継続のリスクとなる



属人的リスク回避のため、複数の福祉事業所さんに作業に関わっていただき、メインの事業所が対応できない時に作業を補完できるように対策があるとより安心

→これはこれでできないと思っていた作業ができるようになる（経験）と他のノウハウを希望する農家作業する機会と得る福祉事業所が増え農福連携が広がるきっかけとなる



お互い Happy — Happy となる！

農福連携の課題

マッチング（つなぎ役）

福祉事業所と農家との農作業受託のマッチング

福祉と農業の両分野をつなぐ窓口の存在が必要

福祉、農業双方がお互いのことを知らず、つなぎ役もいない

お互いの特徴、相性、条件を適切に判断し広域的にマッチング
することのできる人材

→行政からの金銭的な対策が必要

→現場でのボランティア的なマッチングは長続きしない

農福連携を円滑に実施するために

- ・トラブルはもともと働いている「従業員」・「家族」側の利用者さんに対する理解不足が原因

→利用者さんにはそれぞれ一見見た目ではわからない特性があるため、作業が一定時間以上続かなかったり、休憩が多かったり、その日の体調、環境で続かなかったりする

- ・「雇用契約書」

福祉事業所と農家側で「雇用契約書」を作成し、賃金（時給、出来高）、昼食代（賃金に含めるのか）、事業所からの交通費（賃金に含めるのか別途支給するのか）その他決めておくことは書類にしておく。
JGAP取得農家は「雇用契約書」は必須！

- ・トイレ

トイレは必須！圃場の近くにあるのか？ない場合はどこの？どのくらいの距離？のところにトイレがあるのか？利用者さんが使いにくい和式しかないのか？女性の利用者さんに対する配慮のあるトイレか？

令和3年5月13日

目的 規約条文より

コンソーシアムは、農業サイドの労働力不足、福祉サイドの販売力強化や障がい者の低工賃という課題を解消しつつ、農業のもつ多様な人材を生かす福祉力が発揮できるよう、大隅地域で農福連携を実践している団体を結びつけるプラットフォームとなる。また、農福連携を知らない、施設外就労に新たに組みたいという事業者に農福連携を知るきっかけ作りやサポートの場を提供し、新たな仲間づくり、大隅地域全体の農業振興を図る。



大隅半島ノウフクコンソーシアム設立



1	(福) 白鳩会	南大隅町
2	(株) オキス	鹿屋市
3	ライズ (株)	鹿屋市
4	(合) 農栄ファーム	鹿屋市
5	(一社) P S 支援機構	鹿屋市
6	(株) ひまわり農苑	鹿屋市
7	(特非) 悠和会	鹿屋市
8	(株) ジャパンピース	鹿屋市
9	(株) みかげ	鹿屋市
10	(株) サンフィールズ	鹿屋市
11	ワークプランニング (株)	鹿屋市
12	(一社) ナガノレーシング	東串良町
13	(株) 今村製茶	錦江町
14	(株) 瑞ひかり	肝付町
15	(福) 愛生会	大崎町
16	ひふみよベースファーム大崎	大崎町
17	(福) 敬心会 太陽の丘	鹿屋市

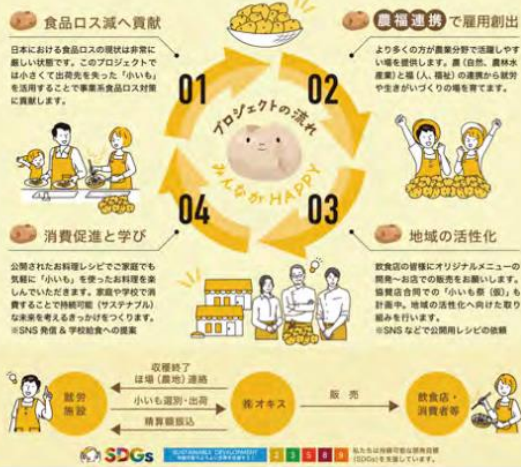
1	鹿屋市農林水産課
2	大崎町農林振興課
3	東串良町農林水産課
4	錦江町産業振興課
5	南大隅町経済課
6	大隅くらし・しごとサポートセンター
7	大隅地域振興局農林水産部

- ・ 農業法人 6 社
- ・ 福祉事業所 8 法人 (現在 9 法人)
- ・ 2 団体 (現在 3 団体)
- ・ 6 地方公共団体
- ・ アドバイザー 2 名 (現在 3 名)

大隅半島ノウフクコンソーシアム活動実績

小さいプロジェクト

株式会社オキスでは、人手不足が原因で収穫時に規格外のじゃがいも(小さいも)を年間25t廃棄していました。同社の代表岡本孝志さんは、ONCの役員会で農福連携で解決できないかと提案。「小さいプロジェクト」が始まりました。3事業所の利用者さんとスタッフがマルチはぎ、小さいもの収穫、運搬、仕分けをしました。岡本さんや事務局がこまめに勤務時間や人数、ほ場の情報を共有して進め、会員間の信頼関係が高まりました。収穫した小さいもは、オキスのネットワークを活用し、プロジェクトに賛同した地元の飲食店に買い取っていただき、売上金は福祉事業所への委託料に充てました。子ども食堂にも提供し、食育やひきこもり支援など新しい展開の可能性を秘めています。



ノウフクマルシェ 2022

二子玉川ライズ(東京都世田谷区)で開催された農福連携等応援コンソーシアム主催のマルシェに出店しました。



お試しノウフク

「農福連携やってみたい」という事業者同士をマッチングします。実績は以下の通り。

- ◆株式会社 瑞ひかり × 一般社団法人 ナガノレーシング
- ◆社会福祉法人 白鳩会 × 株式会社 上鶴畜産
- ◆社会福祉法人 白鳩会 × 駿河木材 有限会社
- ◆社会福祉法人 白鳩会 × 佐多地区のじゃがいも農家 数件

県外視察

- ◆京丸園 株式会社(静岡県浜松市)
- ◆株式会社 鈴生(静岡県静岡市)
- ◆埼玉福興 株式会社(埼玉県熊谷市)
- ◆社会福祉法人 ゆずりは会(群馬県前橋市)
- ◆パーソルサックス 株式会社 富岡醸工房(群馬県富岡市)
- ◆さんさん山城(京都府京田辺市)
- ◆特定非営利活動法人 縁活(滋賀県栗東市)
- ◆兵庫県立 淡路景観園芸学校(兵庫県淡路市)
- ◆社会福祉法人 青葉仁会(奈良県奈良市)

農福連携等応援コンソーシアム

「耕すみんなを応援する」
2019年に制定された「農福連携等推進ビジョン」をもとに、翌3月設立。地域に暮らすすべての人が、豊かで幸せに生きられる共生社会の実現を目指し、ノウフク・アワードやノウフク・ラボなどを実施。国・地方公共団体、関係団体等をはじめ、経済界や生活者、さらには学識経験者など、さまざまな関係者を巻き込んだ国民運動として農福連携等を応援するプラットフォームです。



優れた取組を表彰する
「ノウフク・アワード」



企業とノウフク現場がつながって
課題を解決する「ノウフク・ラボ」



講演会・研修会

- ◆新免修氏(さんさん山城施設長)講演会
- ◆ノウフクJAS研修会
- ◆皆川芳嗣氏(日本農福連携協会会長)講演会
- ◆GAP研修会
- ◆濱田健司氏(東海大学文理融合学部教授)講演会



2年目：皆川芳嗣氏（元農水省事務次官・日本農福連携協会会長）ご講演



小さいプロジェクト



・株式会社オキス（副会長）の岡本社長から役員会にて提案

年間25トンを廃棄する「子いも」を農福連携で価値づけることはできないか。規格外のじゃがいもを商品として出荷できないだろうか。

好評につき6月中旬まで期間延長!

食品ロス対策 & 農福連携

「小さいも」を美味しく活かして未来へつなぐプロジェクト

協賛店募集

利用価値があるのに小さいだけで出荷先がなく、行き場を失った「小さいも」たち。みんなの力で、大切な大地の恵みを活かしましょう!

01 食品ロス減へ貢献

日本における食品ロスの現状は非常に厳しい状況です。このプロジェクトでは小さくても出荷先を失った「小さいも」を活用することで事業系食品ロス対策に貢献します。

02 農福連携で雇用創出

より多くの方が農業分野で活躍しやすい場を提供します。農（自然、農林水産業）と福（人、福祉）の連携から就労や生きがいづくりの場を育てます。

プロジェクトの流れ

みんながHAPPY

03 消費促進と学び

公開されたお料理レシピでご家庭でも気軽に「小さいも」を使ったお料理を楽しんでいただけます。家庭や学校で消費することで持続可能（サステナブル）な未来を考えるきっかけをつくります。
※SNSなどの発信、学校給食への提案

04 地域の活性化

飲食店の皆様にオリジナルメニューの開発～お店での販売をお願いします。協賛店合同での「小さいも 煎（飯）」も計画中。地域の活性化へ向けた取り組みを行います。
※SNSなどの発信

就労施設

← 精算届振込

オキス

飲食店・消費者等

← 販売

収穫終了 仕場（農地）連絡
 販売 ※本県は熊本市内の産品に限りません。
 ■商品詳細 購入数量
 ・受付期間：2022年6月19日まで
 ・賞：品ご年単位をとりず
 ・購入単位：1箱（10kg）～
 ・購入数量：120箱/年（仮定）
 ・お支払い：お協賛の（現金のみ）
 ・お渡し予定：6月中旬まで

「小さいも」を美味しく活かして未来へつなぐプロジェクト

【主催】大隅半島ノウフクコンソーシアム
 ライス様、NPO 法人悠和会、自立就労支援センター太陽の丘、株式会社オキス、NPO 法人たがやす
 【協力】飲食業生活衛生同業組合 鹿屋支部
 ■連絡先 株式会社オキス tel.0994-45-2508



ご購入はこちら



- ・大型機械で収穫するじゃがいも
- ・規格外のものは機械から自動的に弾かれ廃棄→年間25トン！頭を悩ませていた、、、
- ・大隅半島ノウフクコンソーシアムと連携。
- ・施設側で障がい特性に配慮した作業選定、スケジュール調整をおこなう
(コンソ会員3事業所、約20名)
- ・収穫した小さいものは地元の飲食店・レストランに買い取ってもらい、売上金を障がい者の工賃に。
- ・店舗ごとに新メニュー開発し「じゃがいもフェア」をSNS等でシェア
- ・都市部の企業からの問い合わせ。次年度はこの取組みを大きくできそうな兆し
- ・コンソ内でつながりが生まれ、新たなビジネス創出を検討し始める

小さいプロジェクト





株式会社 今村製茶

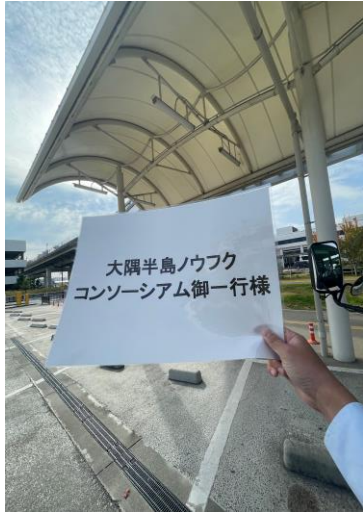


H A N A N O K I
F A R M

2023年1月25日(水)
ノウフクJAS
認証機関による書類審査、実地検査
済

2023年7月
ノウフクJAS
認証機関による実地検査
予定

県外視察研修の様子



ノウフクアワード2022「チャレンジ賞」受賞！





「ノウフク・アワード2022」表彰23団体

No. 1 北海道 新得町

農事組合法人 共働学舎新得農場

- ・ソーシャルファームの草分け的存在
- ・畜産、野菜を主として、チーズ等の加工や6次産業化にも取り組みレストランを経営
- ・チーズでは国際的な賞も受賞

グランプリ

No. 2 山形県 鶴岡市

社会福祉法人 月山福祉会

- ・畜産（短角牛）や野菜・果樹に取り組み認定農業者を取得
- ・高工賃の実現や地域におけるチャリティイベント等の多角的な活動により地域の中心的存在となる

準グランプリ
(未来を耕す)

No. 7 三重県 鈴鹿市

社会福祉法人 朋友 就労継続支援B型事業所Cotti菜

- ・カフェ運営や緑菜製造等、活動の幅を広げた取組により、高い工賃を実現
- ・理事が設立メンバーとして、一般社団法人三重県障がい者就労促進協議会を設立し、県内の普及に貢献している

準グランプリ
(人を耕す)

No. 9 和歌山県 有田川町

社会福祉法人 有田つくし福祉会 早月農園

- ・地域の中核的な取組へと年月をかけて成長、農地も5haと広く温州みかんを中心とした柑橘類を栽培
- ・法人内で6次産業化にも取り組み、高工賃を実現、一般就労移行者も輩出している

優秀賞

No. 10 山口県 阿武町

社会福祉法人 E.G.F のきな農場阿武事業所

- ・地域の農作業支援を積極的に行うとともに、自ら農業や6次産業化にも取り組み、県平均を上回る工賃を確保し、地域農業を支える存在となっている

優秀賞

No. 11 長崎県 長崎市

社会福祉法人 出島福祉村

- ・びわ茶等の加工品やカフェ運営など幅広い活動を通じ、障害者が一生安心して暮らせる住環境の整備に取り組んでいる
- ・認定農業者となり、社会福祉法人としては日本で初めて6次産業化事業計画の認定を受ける

優秀賞

No. 4 群馬県 前橋市

社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花

- ・約14haの農地で障害者23名が野菜栽培に従事
- ・地元農業に対する出荷割合も高く、地域農業の中核として、県平均を大きく上回る高工賃を実現
- ・一般就労移行者も輩出

グランプリ

No. 3 栃木県 小山市

社会福祉法人 パステル 多機能型事業所CSWおとめ

- ・地域の養蚕生産を守る担い手、桑の葉や桑の実製品で6次産業化にも取り組み、高工賃を実現
- ・来年度からは、地域の「稚蚕飼育事業」をJAから継承

準グランプリ
(地域を耕す)



No. 5 静岡県 静岡市

株式会社 サンファーマーズ

- ・高精度トマトのハウス栽培により障害者3名を従業員と同じ賃金で雇用し、一人一人が活躍できる環境を整備
- ・地域の幼稚園と食育活動を連携して行っている

優秀賞

No. 6 石川県 内灘町

株式会社 笠間農園

- ・近隣の多数の事業所と連携して栽培面積を数倍に拡大し、地域農業への貢献や工賃の向上を実現
- ・県の農福連携促進アドバイザーとして県内のマッチングにも貢献

優秀賞

No. 8 岐阜県 関市

株式会社 DAI 就労継続支援A・B型 それいゆ

- ・行政、JAと連携し、農地の受け手となって農業に取り組み、地域特産品の円空里芋の栽培拡大、加工の受託等により県平均を上回る工賃を実現
- ・企業からの加工委託も請け負っている

優秀賞

フレッシュ賞

- No.12 (有)照沼農園 (茨城県水戸市)
- No.13 (福)土穂会 障害福祉サービス事業所 ピア宮敷第1工房 (千葉県いすみ市)
- No.14 金沢市農業協同組合 (石川県金沢市)
- No.15 (株)ココトモファーム (愛知県犬山市)
- No.16 三休 - SANKYU - (京都府京田辺市)
- No.17 (株)和光ワールド (愛媛県伊予市)

チャレンジ賞

- No.18 特定非営利活動法人 サトニクラス 就労継続支援A型 サトニクラス 酵房 (北海道月形町)
- No.19 三陸ラボラトリー (株) (岩手県大船渡市)
- No.20 一般社団法人 イシノマキ・ファーム (宮城県石巻市)
- No.21 (株) 八天堂ファーム (広島県三原市)
- No.22 大隅半島ノウフクコンソーシアム (鹿児島県南大隅町)
- No.23 (福) みやこ福祉会 (沖縄県宮古島市)



3年目スタート！：仲間が増えています

大隅半島ノウフクコンソーシアム 会員名簿

	事業所名	代表者名	所在地	区分
1	(社福) 白鳩会花の木農場	中村 隆一郎	南大隅町根占川北9466-8	福祉
2	(株) オキス	岡本 孝志	鹿屋市下高隈町5454-11	農業
3	ライズ (株)	草葉 正司	鹿屋市東原町6874-4	農業、福祉
4	(合) 農栄ファーム	浅山 貴史	鹿屋市輝北町下百引113-2	農業
5	(一社) パーソナルサービス支援機構	大倉 一真	鹿屋市西原2-18-33	福祉
6	(有) サンフィールズ	久木田 敬一	鹿屋市東原町5934-45	農業
7	(株) ひまわり農苑	郷原 親盛	鹿屋市西原4-12-15	農業
8	NPO法人悠和会	末吉 正志	鹿屋市葦川町4128-4	福祉
9	(株) ジャパンビース	土橋 哲人	鹿屋市笠之原町5-58-2	福祉
10	(有) みかげ	前原 文寛	鹿屋市西葦川町576-1	福祉
11	(一社) ナガノレーシング	永野 真悟	東串良町新川西5096-3	福祉
12	(株) 瑞ひかり	中村 悠喜	肝付町前田2612-2	農業
13	(株) 今村製茶	今村 和也	錦江町神川2173-1	農業
14	(社福) 愛生会	新平 金道	曾於郡大崎町菱田3596	福祉
15	(株) ひふみよベースファーム大崎	諸木 大地	曾於郡大崎町菱田948-2	福祉
16	ワークプランニング (株)	井手 誠	鹿屋市北田町3-3-21	人材紹介 人材派遣
17	(社福) 敬心会 自立支援センター太陽の丘	桑山 靖子	鹿屋市今坂町12560-1	福祉
18	JA鹿児島きもつき	下小野田 寛	鹿屋市白崎町1-1	農業
19	(株) 上鶴畜産	上鶴 広己	錦江町神川2992	農業
20	駿河木材 (有)	大竹野 千里	南大隅町根占横別府4192	林業
21	NPO法人たがやす	馬場 みなみ	錦江町神川3306-4 旧神川中 学校2階図書室	地域振興
22	南大隅町		南大隅町根占川北226	支援
23	錦江町産業振興課		錦江町城元963	支援
24	錦江町介護福祉課		錦江町城元963	支援
25	大隅地域振興局農政普及課		鹿屋市打馬2-16-6	支援
26	大隅地域振興局保健福祉環境部地域保健福祉課		鹿屋市打馬2-16-6	支援

	事業所名	代表者名	所在地	区分
27	大隅くらし・しごとサポートセンター		鹿屋市打馬2-16-6	支援
28	大崎町農林振興課		曾於郡大崎町假宿1029-1	支援
29	大崎町保健福祉課		曾於郡大崎町假宿1029-1	支援

アドバイザー

1	東海大学文理融合学部経営学科 教授	濱田 健司
2	(株)熊本地域協働システム研究所 代表取締役	宮田 喜代志
3	(株)農都共生総合研究所 代表取締役	川辺 亮
4	元鹿屋市副市長 (農林水産省食品安全政策課課長補佐)	鈴木 健太

支援機関

1	鹿屋市農林商工部農政課
2	東串良町農林水産課

- ・ 農業法人 6 社、林業法人 1 社、畜産法人 1 社
- ・ 福祉事業所 9 法人
- ・ 5 団体（まちづくり系NPO / 人材派遣・職業紹介企業/生活困窮者支援団体/自殺対策、ひきこもり、不登校児支援法人など）
- ・ 7 地方公共団体
- ・ アドバイザー 4 名

大隅半島ノウフクコンソーシアム
農福連携研修会

農福連携と 自然栽培

講師

社会福祉法人 ゆずりは会
小淵 久徳 氏



日時 : 令和5年8月30日
15時00分～17時30分

場所 : (株)オキス 会議室
鹿屋市下高隅町5454-11

内容 : 15:00～ 小淵氏 講話
16:30～ 会員事例発表

参加費 : 無料

問合せ先 : NPO法人たがやす
nouhuku.tagayasu@gmail.com

ゆずりは会の実践紹介

- 2022年度には就労継続支援B型で工賃76,000円を達成
- 地域の耕作放棄地を借り受け、玉ねぎやお米など10品目を生産
- 近隣農家約60戸と連携し、援農、作業交換、米苗販売、ライスセンター事業を実施
- 慣行農法を行う一方で自然栽培農法による栽培や商品開発を行う
- 地元の学校や保育所、特別支援学校と連携し、農業体験や実習生の受け入れを行っている。
- 自然栽培パーティ「一反パートナー」ではCASIO計算機と連携し、企業連携も積極的に進めている。